

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催事業費(トリエンナーレ)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111 (内 2465)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 104,000 千円 (前年度予算額：32,100 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	32,100	0	0	0	0	0	0	0	32,100
要求額	104,000	0	0	0	0	0	0	0	104,000
決定額	104,000	0	0	0	0	0	0	0	104,000

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、全国規模の企画公募展を開催する。

### (2) 事業内容

令和5年に第3回となる展覧会「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」を開催するため、作品受付、審査会(予備審査、一次審査)開催、展覧会場整備・開催準備及び広報を実施する。

#### 【概要】

◇トリエンナーレ方式(3年に1回開催)

※第1回は平成29年度、第2回は令和2年度に開催。

◇「キューブの中に、決められたテーマを解釈・表現する」作品を国内外から募集(分野・技法・手法は問わない)

◇第3回のテーマは「リアル」のゆくえ

◇会場は岐阜県美術館を予定。

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	104,000	実行委員会負担金
合計	104,000	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。

将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、実行委員会を継続し事業を実施する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業  
 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 2023年4月の展覧会開幕に向けて、作品受付、審査会（予備審査、一次審査）、会場整備（キューブ制作・設営、作品設置等）、広報を行うとともに、展覧会運営に係る体制整備を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						達成率
① 応募総数	710件	—	—	710件	—	—%

### ○指標を設定することができない場合の理由

—

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> <li>○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の開催に向け、作品の受付（2021年12月～2022年5月）を開始。また、国内外に公募周知を図るためPRイベント・公募説明会の開催、広報等を実施。</li> <li>○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の公募周知を図るため、国内主要都市において、PRイベント・公募説明会を開催。</li> <li>○公式ウェブサイトにも英語版を開設するなど、海外からの作品応募増に向けた取組みを実施。</li> </ul>
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	第2回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」は、応募総数 710 件、来館者数 7,759 人となった。新型コロナウイルス感染症の影響で第1回よりは減少（応募総数 790 件、来館者数 37,579 人）したが、入場者を事前予約等にする中で、多くの県民等が来館。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	第3回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向け、外部の広報媒体の活用を通じ、効率的かつ積極的な広報を実施。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 来館者数増のため、効率的かつ効果的な広報の実施。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、AAIC2023 の具体的な実施計画について検討し、展覧会開催に向けた準備を行う。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	